

数学科 学習指導案

日 時：平成 24 年 2 月 17 日（金）第 5 校時（13 時 15 分～14 時 05 分）
学 年：中学部 3 年（13 名）
授 業 場 所：中 3 教室

1. 単元（題材）名 標本調査

2. 単元（題材）の目標

- （1）標本調査の必要性和意味を知り，調査の方法を理解する。
- （2）標本調査を活用し，母集団の傾向をとらえることができるようになる。

3. 単元（題材）の指導計画 指導計画（全 8 時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 1 時	標本調査の意味を知り，全数調査との違いを知る。	IWB
第 2 時	資料の整理の復習をし，データを整理できるようにする。	IWB, TPC
第 3 時	課題を設定し，標本を抽出する。	TPC
第 4 時	データを整理し，レポートを作成する。	
第 5 時	レポートの発表準備をする。	
第 6 時	レポートの仮発表をし，発表の準備をする。	IWB, TPC
第 7 時	レポートを発表し，改善する。（本時 7 / 8）	IWB, TPC
第 8 時	全数調査との比較をし，これまでの学習を振り返る。	IWB

4. 本時の目標

- （1）データを根拠として正しく用いた発表ができる。
- （2）レポート改善に活用できるデータをグループで探し，活用する。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	
活用する者〔目的〕	・児童・生徒〔・資料提示 〕 ・指導者〔・コンテンツ提示 〕
活用するコンテンツ	・自作コンテンツ
活用する機器	TPC

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICT による支援】
導 入	一斉学習 ①前時の内容を確認し、本時の発表のねらいを知る。 ②本時の活動を知る。	IWB（指導者）	意見する視点を明確にすることで、レポートの改善に向かう話し合い活動を支援する。 【IWB に意見する視点を映しておく】
	展開 協働学習 ③2グループに分かれて、発表・意見交換を行う。	TPC（生徒）	- 司会、記録、時間係を決め、スムーズに発表や意見交換が進むよう支援する。 - ワークシートを配布し、記録係が意見や改善案をまとめることに活用する。 【TPC にデータやグラフを表示し、レポートの資料として使う。】
ま と め	一斉学習 ④③で作成したレポートに見られる工夫を、自分のレポートに活かす。	IWB, みエルもん（指導者）	協働学習の間に工夫がなされているレポートを探しておき、生徒に紹介する。 【レポートやデータを IWB に映し出す。】
	個別学習 ⑤自分の発表に対する意見や改善案を見て、レポートの改善をする。 ⑥次回の予告をする。	TPC（生徒）	意見する視点を再度確認し、改善するポイントを押さえておく。

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- (1) データを根拠として正しく用いた発表ができたか。
- (2) 意見する視点を具体的に持ち、レポートを評価・改善し合えたか。

8. 準備物

ワークシート, IWB, TPC, みエルもん, デジタル資料（自作コンテンツ）